日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: ２００２年１０月２８日

出 願 番 号
Application Number: 特願２００２－３１２８１４
[ST. 10/C]: [ＪＰ２００２－３１２８１４]

出 願 人
Applicant(s): 宮本 司

２００３年１０月 １日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office 今井康夫

出証番号 出証特２００３－３０８０８５９

【書類名】　特許願
【整理番号】　P24956
【提出日】　平成14年10月28日
【あて先】　特許庁長官殿
【国際特許分類】　A61F　5/00
【発明の名称】　性不全矯正具
【請求項の数】　6
【発明者】
【住所又は居所】　神奈川県横浜市中区扇町４丁目１２－４
【氏名】　宮本　司
【特許出願人】
【識別番号】　502062364
【住所又は居所】　神奈川県横浜市中区扇町４丁目１２－４
【氏名又は名称】　宮本　司
【代理人】
【識別番号】　100066061
【住所又は居所】　東京都港区新橋１丁目１８番１６号　日本生命新橋ビル３階
【弁理士】
【氏名又は名称】　丹羽　宏之
【電話番号】　03(3503)2821
【選任した代理人】
【識別番号】　100094754
【住所又は居所】　東京都港区新橋１丁目１８番１６号　日本生命新橋ビル３階
【弁理士】
【氏名又は名称】　野口　忠夫
【電話番号】　03(3503)2821

【手数料の表示】

【予納台帳番号】　011707

【納付金額】　21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】　明細書　1

【物件名】　図面　1

【物件名】　要約書　1

【プルーフの要否】　要

【書類名】　　明細書

【発明の名称】　性不全矯正具

【特許請求の範囲】

【請求項１】　空気を注入したとき弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になる中空体であって、壁体が内層と外層とからなり、内層がゴム、外層がスポンジゴムで形成されている性不全矯正具。

【請求項２】　空気を注入したとき弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になり、壁体が内層と外層とからなり、内層がゴム、外層がスポンジゴムで形成され、一端部に気圧計の接続部を有する中空体と、前記接続部に接続され、前記中空体の圧縮による収縮を拡大して同中空体に加わる圧縮力を測る前記気圧計とよりなる性不全矯正具。

【請求項３】　前記中空体の表面にゴムの薄い表皮層が設けられている請求項１又は２記載の性不全矯正具。

【請求項４】　膣内に挿入できる弾性変形可能な長いまゆ型の筒状体であって、壁体が内層と外層とからなり、内層がゴム、外層がスポンジゴムで形成されている性不全矯正具。

【請求項５】　前記筒状体の表面にゴムの薄い表皮層が設けられている請求項４記載の性不全矯正具。

【請求項６】　空気を注入したとき弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になる中空体であって、壁体がゴムで形成されている性不全矯正具。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

この発明は、出産、帝王切開などで弱くなった膣の収縮力を矯正して本来の正常な状態に回復させるために使用する性不全矯正具に関するものである。

【０００２】

【従来の技術】

妊婦が出産や帝王切開をした場合、その後、その人の膣の収縮力が弱くなるこ

とがある。

【０００３】

このような理由から、医師は、その人に、肛門、尿道、膣などの中空性器官を取り巻く括約筋を自ら意識的に動かし、膣の収縮力の回復に努めるよう指導している。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、括約筋を自ら意識的に動かすといっても、そのことにより膣がどの程度収縮しているのか、したがって、その収縮力がどの程度なのか体感できない。

【０００５】

この発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、上記括約筋を意識的に動かしたときの膣の収縮力がどの程度かを体感できる性不全矯正器具を提供することを目的とする。

【０００６】

また、この発明は、単に膣の収縮力を体感できるだけでなく、膣の収縮力を測定してその回復の程度を知ることができる性不全矯正器具を提供することを目的とする。

【０００７】

【課題を解決するための手段】

この発明が提供する性不全矯正具は、次の（１）～（６）に記載のものである。

【０００８】

（１）空気を注入したとき弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になる中空体であって、壁体が内層と外層とからなり、内層がゴム、外層がスポンジゴムで形成されている性不全矯正具（以下、第１の矯正具という）。

【０００９】

（２）空気を注入したとき弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になり、壁体が内層と外層とからなり、内層がゴム、外層がスポンジゴムで形成され、一端部に気圧計の接続部を有する中空体と、前記接続部に接続され、

前記中空体の圧縮による収縮を拡大して同中空体に加わる圧縮力を測る前記気圧計とよりなる性不全矯正具（以下、第２の矯正具という）。

【００１０】

（３）第１又は第２の矯正具の中空体の表面にゴムの薄い表皮層を設けた性不全矯正具（以下、第３の矯正具という）。

【００１１】

（４）膣内に挿入できる弾性変形可能な長いまゆ型の筒状体であって、壁体が内層と外層とからなり、内層がゴム、外層がスポンジゴムで形成されている性不全矯正具（以下、第４の矯正具という）。

【００１２】

（５）第４の矯正具の筒状体の表面にゴムの薄い表皮層を設けた性不全矯正具（以下、第５の矯正具という）。

【００１３】

（６）空気を注入したとき弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になる中空体であって、壁体がゴムで形成されている性不全矯正具（以下、第６の矯正具という）。

【００１４】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施の形態を実施例によって説明する。

【００１５】

【実施例１】

実施例１の性不全矯正具は、図１に示すように、空気を注入したとき、弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になる中空体K_1である。外径は３ｃｍ、長さは１０ｃｍである。

【００１６】

中空体K_1の壁体１は、内層１ａと外層１ｂとより構成されていて、内層１ａは合成ゴム、外層１ａはスポンジゴムでできている。内層１ａの厚さは１ｍｍ、外層１ｂの厚さは２ｍｍである。

【００１７】

２は内層（合成ゴム層）１ａの端部内面に突設したへそで、ここに注射器の針を差し込んで空気を注入する（又は抜く）ためのものである。空気の注入量は、その人のそのときの膣の収縮力を勘案して任意に決めることができる。

【００１８】

内層１ａは注入した空気を密封して逃がさないようにする層であり、外層１ｂは膣内に挿入したときの触感を柔らかくするための層である。

【００１９】

実施例１の性不全矯正具は、上述のような中空体K_1となっているので、これを膣内に入れたときは異物として体感でき、その回りの括約筋を意識的に動かしたときの膣の収縮力は異物の膣壁に対する押圧力の強弱によって体感できる。

【００２０】

このため、自ら体感しながら膣の収縮力の回復に努めることができる。

【００２１】

【実施例２】

実施例２の性不全矯正具は、図２に示すように、実施例１の中空体K_1の一端部に気圧計Ｍを接続する接続管３を設けた中空体K_2と、その接続管３にゴムチューブ４の先端部を接続して取り付けた気圧計Ｍとより構成されている。５は計器本体、５ａはその指針である。

【００２２】

図２において、１，１ａ，１ｂ，２は図１におけると同一又は相当部分を示す。したがって、その説明は省略する。

【００２３】

実施例２の性不全矯正具は、上述のような構成となっているので、中空体K_2の中に空気を注入し、計器本体５の指針５ａを目盛のゼロに合わせてから、中空体K_2部分を膣内に挿入する。挿入したときは、中空体K_2を異物として体感することができる。

【００２４】

中空体K_2を膣に挿入した状態で、その回りの括約筋を意識的に動かすと、そのときの膣の収縮力が中空体K_2に作用し、これを圧縮する。このときの圧縮力

は体感しながら中空体Ｋ$_2$に加えることができる。

【００２５】

圧縮された中空体Ｋ$_2$の収縮は、計器本体５内の拡大用てこにより拡大され、そのときの気圧が同本体５の指針５ａによって示される。中空体Ｋ$_2$の収縮による気圧を経時的に測定することにより、膣の収縮力の回復の程度を経時的かつ定量的に知ることができる。

【００２６】

【実施例３】

実施例３の性不全矯正具は、図３に示すように、膣内に挿入できる弾性変形可能な長いまゆ型の筒状体Ｔで、外径は３ｃｍ、長さは１０ｃｍである。両端部の穴７の直径は６ｍｍである。

【００２７】

壁体６の構成は、実施例１の壁体１のそれと実質的に同じである。すなわち、壁体６は、内層６ａと外層６ｂとより構成されていて、内層６ａは合成ゴム、外層６ｂはスポンジゴムでできている。内層６ａの厚さは１ｍｍ、外層６ｂの厚さは２ｍｍである。

【００２８】

実施例３の性不全矯正具は、上述のような構成となっているので、その作用効果は実施例１のそれと本質的に同じである。

【００２９】

しかし、両端部に穴７があるので、この部分は、実施例１の中空体Ｋ$_1$それより弾性変形し易く膣壁にやさしいと言える。

【００３０】

【実施例４】

実施例４の性不全矯正具は、図４に示すように、空気を注入したとき、弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になる中空体Ｋ$_3$である。外径は３ｃｍ、長さは１０ｃｍである。

【００３１】

中空体Ｋ$_3$の壁体８は厚さ１ｍｍの天然ゴム製のものである。表面は滑面とな

っている。

【００３２】

９は壁体８の端部内面に突設したへそで、中空体Ｋ３への空気の注入は、このへそ９に注射器の針を差し込んでなされる。空気の注入量は、その人のそのときの膣の収縮力を勘案しながら決めることができる。

【００３３】

実施例４の性不全矯正具は、上述のような中空体Ｋ３となっているので、実施例１の中空体Ｋ１と同様の作用効果を奏する。

【００３４】

なお、実施例１，２の中空体Ｋ１，Ｋ２の外層１ｂ及び実施例３の筒状体Ｔの外層６ｂは、スポンジゴムであるため、汚れを吸収又は吸着し易い。

【００３５】

これを避けるためには、中空体Ｋ１，Ｋ２の外層１ｂと筒状体Ｔの表面にゴムの薄い表皮層を設けるとよい。

【００３６】

また、実施例１～３では、ゴムとして合成ゴムを使用したが、天然ゴムを使用することもできる。

【００３７】

【発明の効果】

以上説明したように、第１～第６の矯正具によれば、上述のような中空体又は筒状体としたので、これを膣内に挿入したときは異物として体感でき、中空性器官を取り巻く括約筋を意識的に動かしたときの膣の収縮力は、異物の膣壁に対する押圧力の強弱によって体感できる。このため、自ら意識しながら膣の収縮力の回復に努めることができる。

【００３８】

また、第２の矯正具によれば、中空体の収縮のレベルを気圧計で測定できるようにしたので、膣の収縮力の回復の程度を経時的かつ定量的に知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】　実施例１の性不全矯正具の一部縦断側面図

【図２】　実施例１の性不全矯正具の一部縦断斜視図

【図３】　実施例３の性不全矯正具の一部縦断側面図

【図４】　実施例４の性不全矯正具の一部縦断側面図

【符号の説明】

Ｋ１，Ｋ２，Ｋ３　中空体

Ｍ　気圧計

１，６，８　壁体

１ａ，６ａ　内層

１ｂ，６ｂ　外層

２，９　へそ

３　接続管

４　ゴムチューブ

５　計器本体

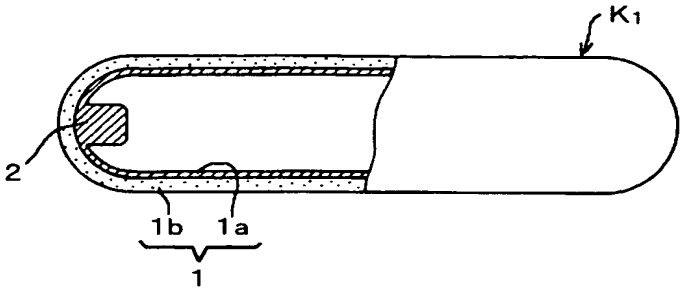
５ａ　指針

Ｔ　筒状体

７　穴

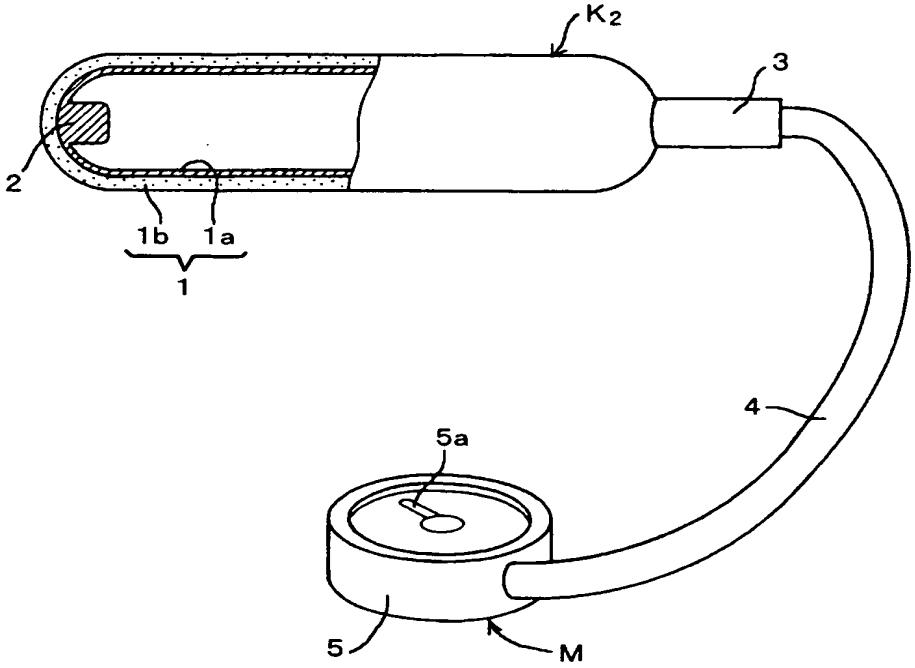
【書類名】　図面

【図１】



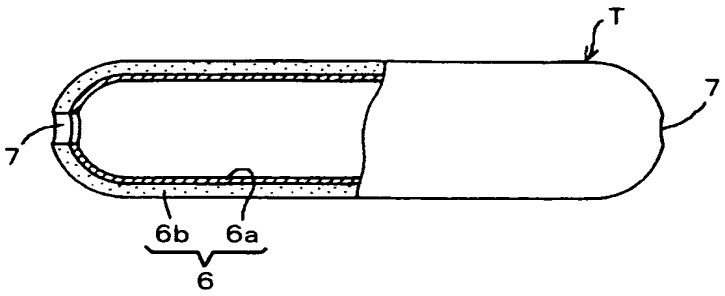
K1：中空体　　1b：外層
1：壁体　　2：へそ
1a：内層

【図２】



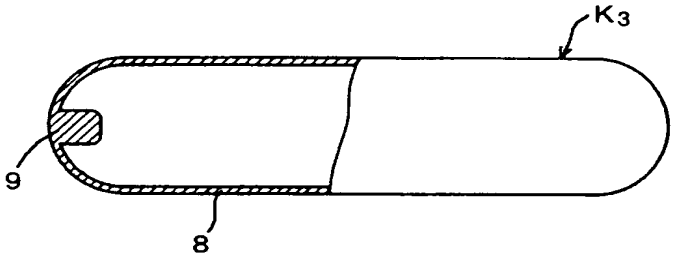
K2：中空体　　4：ゴムチューブ
M：気圧計　　5：計器本体
3：接続管　　5a：指針

【図３】



6：壁体　　T：筒状体
6a：内層　　7：穴
6b：外層

【図４】



K_3：中空体
8：壁体
9：へそ

【書類名】　　要約書

【要約】

【課題】　自ら体感しながら膣の収縮力の回復に努めることができるようにする。

【解決手段】　空気を注入したとき弾性変形可能な長いまゆ型となって膣内への挿入が可能になる中空体Ｋ１であって、壁体１が内層１ａと外層１ｂとからなり、内層１ａがゴム、外層１ｂがスポンジゴムで形成されている性不全矯正具。

【選択図】　　図１

特願２００２－３１２８１４

出　願　人　履　歴　情　報

識別番号　　［５０２０６２３６４］

１．変更年月日　　２００２年　２月２０日
［変更理由］　　新規登録
住　所　　神奈川県横浜市中区扇町４丁目１２－４
氏　名　　宮本　司